

土木学会関西支部との2年続きのコラボレーション

前年度に引き続き大地の学習に取り組むに当たって、導入の授業で使用する沖積層等の粘土を土木学会関西支部へ入手依頼をしました。授業までに関西国際空港地下等の貴重な粘土サンプルを手配していただくことができました。当日子どもたちは信じられないくらい昔の土との出会いに感動とともに、わずかに出てくる貝化石に一喜一憂していました。

また、前年度に土木学会関西支部を通じてご支援いただいた阪神高速株式会社の方にも来ていただき、地震での道路の被害やその後の復旧状況そして最新の防災設備について映像等も交えながら説明いただき阪神淡路大震災について再度じっくりと考えことができました。



土木学会関西支部の支援を受けた2年間を振り返り

「何これ～?」、「粘土やのになんでこんなに固いの?」等々 子どもたちは何万年、何十萬年前の粘土に触れるたびに驚きの声を上げていました。また、阪神高速の方などとの出会いは、大勢の方の知恵と力で安心して車に乗れることを理解しました。このような学習を通して子どもたちは机上の学習では決して得ることのできなかつた知識と体験を積むことができました。こちらが予想していた以上の学習効果を得ることができました。

最初は「こんなお願いをしても大丈夫だろうか?」と内心思っていました。土木学会関西支部の方と何度も話し合いをするうちに「こんなこともできそうだ。」という確信に変わっていきました。

土木学会関西支部の守備範囲は教師が考えている以上に広いこともいろいろと話をしていくうちに分かりました。今後は他の分野での学習でも支援を依頼しようと考えております。ぜひ、みなさんも一度土木学会関西支部の門を叩いてみてください。必ず、その向こうに子どもたちの喜ぶ学習姿があるはずですから。